

# 札幌駅交流拠点 再整備構想（案）

I	札幌駅交流拠点の位置づけ・役割	1
I-1	世界都市さっぽろへ向けた基本認識	1
I-2	都心まちづくりの目標	3
I-3	札幌駅交流拠点の位置づけ・役割	5
II	札幌駅交流拠点再整備コンセプト	8
III	札幌駅交流拠点再整備の基本方針	9
III-1	札幌駅交流拠点 再整備の基本的考え方	9
III-2	札幌駅交流拠点 再整備の基本方針	10
III-3	街区再整備の基本的考え方	26

## 次年度の検討項目

### IV. 実現化に向けた基本的考え方

IV-1 事業展開プログラム

IV-2 札幌駅交流拠点におけるエリアマネジメント

### V. 今後に向けて

# I 札幌駅交流拠点の位置づけ・役割

## I-1 世界都市さっぽろへ向けた基本認識

### 【世界から投資や人材を呼び込むことができる成熟都市へ】

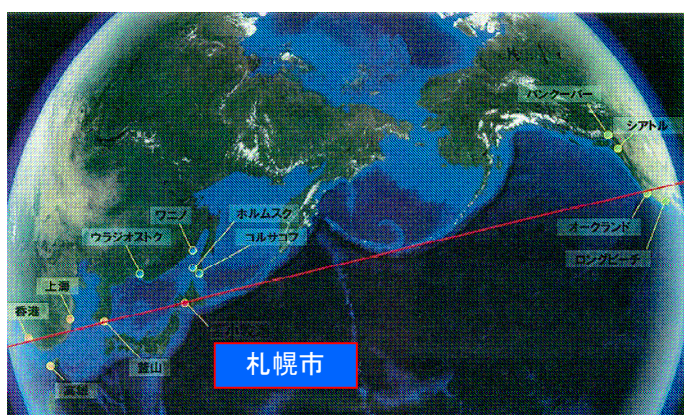
「成長」から「成熟」へ、札幌の都市づくりは今大きな転換期を迎えている。

これまでの人口の増加や産業の発展など都市の成長に合わせた市街地の拡大から、少子高齢化、人口の伸び悩み、人々の価値観やライフスタイルの多様化といった成熟社会を迎え、持続可能なコンパクト・シティへの再構築が求められている。

このような中、多くの市民に愛され、世界に誇れるーアジア・世界レベルでの都市間競争の中で確固たる地位を確立できるー札幌であり続けるためには、市民の生活の質を高め、世界から投資や人材を呼び込むことができる都市へと成熟していくことが必要である。

もとより、札幌は、東アジアと北米を結ぶ線上に位置し、日本海側と太平洋側に3港湾（小樽・石狩・苫小牧）、さらには2空港（新千歳・丘珠）が立地または隣接している地理的優位性を有している。

今後、世界及び東アジア各地域の成長と活力を取り込みながら札幌が成熟していくためには、人・モノ・情報など様々な面での交流促進が重要であり、そのためにはこれら2空港3港湾の機能強化に加え、札幌都心と2空港3港湾をスムーズに結ぶ広域アクセスの強化が必要である。



資料：第4回道央都市圏PT調査

